

# スミダコーポレーション株式会社

## 2025年12月期第4四半期及び通期決算説明資料

2026年2月9日

1. 業績概要 (FY2025.4Q & 通期)
2. FY2026 業績予想 / 配当予想
3. 新中期経営計画2026-2028
  - ✓ これまでのふり返り
  - ✓ Vision to 2035
  - ✓ 中期経営計画2026-2028
4. Appendices

1. 業績概要 (FY2025.4Q & 通期)
2. FY2026 業績予想 / 配当予想
3. 新中期経営計画2026-2028
  - ✓ これまでのふり返り
  - ✓ Vision to 2035
  - ✓ 中期経営計画2026-2028
4. Appendices

売上高	通期	1,471	億円	(YoY +2.2%)
-----	----	-------	----	-------------

営業利益	通期	74	億円	(YoY +64.8%)
------	----	----	----	--------------

4Q	391	億円	(YoY +13.6%)
----	-----	----	--------------

4Q	19	億円	(YoY +378.8%)
----	----	----	---------------

## 増収・増益

売上はYoYで若干の増収着地。

昨年末に実施した抜本的なコスト構造改善により、大幅増益着地。

Schmidbauer社買収による業績への影響額は、売上約12億円増、営業利益約1億円増。

主な損益分岐点引き下げ施策進捗：

- ✓ 欧州における事業構造改革が計画通り完了
- ✓ 中国における製造間接費の適正化も計画通りの進捗  
(FY2024～FY2026の3か年で継続的に実施)

米政権による関税政策（以下、トランプ関税）について

直接影響は、引続き限定的。一方で、間接影響として最終製品需要の低下などは引き続き懸念材料。

# 業績概要 (地域別・市場別売上・グリーンエネルギー関連売上)



	地域別		市場別		グリーンエネルギー関連売上			
	FY25.4Q	YoY	FY25.4Q	YoY		FY25.4Q	YoY	
Asia	154億円	+2.2%	車載	215億円	+8.2%	xEV - 車載	49億円	+0.4%
North America	84億円	+18.7%	インダストリー	111億円	+17.7%	インダストリー(xEV 急速充電器、太陽光発電、蓄電池等)	51億円	-4.3%
Europe	152億円	+24.7%	家電	64億円	+27.0%	合計	100億円	-2.0%
合計	391億円	+13.6%	合計	391億円	+13.6%	売上高に占める割合	25.8%	-4.1pt

Asia	↗	<ul style="list-style-type: none"> <li>車載市場は、xEV関連需要は伸び悩んだものの、ICE関連需要が堅調に推移した結果、<b>94億円</b>での増収着地 (YoY +7.5%)。</li> <li>インダストリー市場は、xEV急速充電需要の伸長に加えて、FA (Factory Automation) 市場全般の回復もあり、<b>26億円</b>での増収着地 (YoY +3.2%)。</li> <li>家電市場は、携帯電話関連及びAI搭載PC関連の需要に落ち着きが見られた結果、<b>33億円</b>での減収着地 (YoY -10.9%)。</li> </ul>
North America	↗	<ul style="list-style-type: none"> <li>車載市場は、xEV関連需要は伸び悩んだものの、ICE関連需要が堅調に推移した結果、<b>26億円</b>での増収着地 (YoY +4.1%)。</li> <li>インダストリー市場は、蓄電池・EV急速充電需要は継続して堅調に推移するも、前年度の特需もあり、<b>36億円</b>での若干の減収着地 (YoY -3.1%)。</li> <li>家電市場では、携帯電話関連の需要が堅調に推移した結果、<b>21億円</b>と大幅な増収着地 (YoY +155.9%)。</li> </ul>
Europe	↗	<ul style="list-style-type: none"> <li>車載市場は、ICE/xEV関連需要ともに堅調に推移した結果、<b>94億円</b>での増収着地 (YoY +10.2%)。</li> <li>インダストリー市場は、xEV急速充電器需要の伸長に加えて、Schmidbauer社のグループインもあり、<b>48億円</b>と大幅な増収着地 (YoY +54.1%)。</li> <li>家電市場は、<b>9億円</b>での増収着地 (YoY +88.3%)。</li> </ul>
グリーンエネルギー関連	↘	<ul style="list-style-type: none"> <li>インダストリー市場 (急速充電器 / 太陽光発電 / 蓄電池等)は堅調。Schmidbauer社のグループインにより、風力発電等のインダストリー市場に対する新たなラインナップも追加。ただし、前年からの反動もあり、全体では<b>100億円</b>でのほぼ横ばい着地 (YoY -2.0%)。売上高に占める割合は<b>25.8%</b>に低下 (YoY -4.1pt)。</li> </ul>

\*上記定量データは管理会計値 \*グループ販売会社の所在地別売上 \*ICE: 内燃機関 (Internal Combustion Engine)

事業環境における不確実性は依然として高い状況。  
 今後の市場動向を注視しつつ、地産地消並びに収益源の多様化を進める。

<p>環境</p>	<p>地政学リスクにより、事業環境における不確実性は依然として高い。                  米国経済は比較的堅調に推移。                  中国経済は、政府が内需の回復を図るため耐久消費財向け補助金を出すも、効果は低減。                  欧州では対米関税交渉の成り行き等の不確実要因のため、本格的な回復にはまだ時間を要する模様。                  ドイツが2026年に本格的なEV補助金の再導入を開始し、他のEU加盟国も補助金を強化、EVの回復が期待される。</p>														
<p>影響/リスク</p>	<p>「トランプ関税」による影響に引き続き注視。                  当社の取引において、当社が通関手続きを行うことはほぼないものの、様々な影響が考えられる。</p> <table border="1" data-bbox="377 763 2244 1120"> <thead> <tr> <th data-bbox="377 763 580 839">区分</th> <th data-bbox="580 763 1689 839">内容</th> <th data-bbox="1689 763 2244 839">当社グループへの影響</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="377 839 580 915">直接影響</td> <td data-bbox="580 839 1689 915">✓ 当社グループが関税を直接負担する取引</td> <td data-bbox="1689 839 2244 915">軽微</td> </tr> <tr> <td data-bbox="377 915 580 1018">間接影響</td> <td data-bbox="580 915 1689 1018">                     ✓ 消費者が関税分の追加コストを負担した場合：最終需要の低下の可能性                      ✓ 企業が負担した場合：サプライチェーン各段階での値下げ圧力                 </td> <td data-bbox="1689 915 2244 1018">潜在的な影響あり</td> </tr> <tr> <td data-bbox="377 1018 580 1120">その他</td> <td data-bbox="580 1018 1689 1120">                     ✓ 米国政府の対中政策に基づく米国側の取引・輸入制限の影響                      ✓ 為替変動による収益性への影響                 </td> <td data-bbox="1689 1018 2244 1120">                     潜在的な影響あり                      潜在的な影響あり                 </td> </tr> </tbody> </table>			区分	内容	当社グループへの影響	直接影響	✓ 当社グループが関税を直接負担する取引	軽微	間接影響	✓ 消費者が関税分の追加コストを負担した場合：最終需要の低下の可能性 ✓ 企業が負担した場合：サプライチェーン各段階での値下げ圧力	潜在的な影響あり	その他	✓ 米国政府の対中政策に基づく米国側の取引・輸入制限の影響 ✓ 為替変動による収益性への影響	潜在的な影響あり 潜在的な影響あり
区分	内容	当社グループへの影響													
直接影響	✓ 当社グループが関税を直接負担する取引	軽微													
間接影響	✓ 消費者が関税分の追加コストを負担した場合：最終需要の低下の可能性 ✓ 企業が負担した場合：サプライチェーン各段階での値下げ圧力	潜在的な影響あり													
その他	✓ 米国政府の対中政策に基づく米国側の取引・輸入制限の影響 ✓ 為替変動による収益性への影響	潜在的な影響あり 潜在的な影響あり													
<p>対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 各地域で設計/製造/販売を完結できる地産地消体制を活かした柔軟な顧客対応</li> <li>✓ 収益源の多様化（FY2025Q4に子会社化したSchmidbauer社ビジネスの拡大及び横展開）</li> <li>✓ 損益分岐点の更なる改善（Ex.中国における製造間接費の適正化、更なる経費の抑制）</li> <li>✓ 成長市場の開拓</li> </ul>														

# 損益計算書



		FY24	FY25			FY24	FY25			FY25
		4Q	3Q	4Q	前年同期比	直前四半期比	実績	実績	前年同期比	直近業績予想 <sup>*1</sup>
	実績	実績	実績							
売上高	百万円	34,442	36,906	39,117	+13.6%	+6.0%	143,978	147,194	+2.2%	144,000
営業利益	百万円	407	2,124	1,950	+378.8%	-8.2%	4,513	7,439	+64.8%	7,000
税引前当期利益	百万円	-389	1,454	1,201	N/A	-17.4%	1,295	4,830	+272.9%	4,080
当期利益 <sup>*2</sup>	百万円	-651	1,009	941	N/A	-6.8%	590	3,618	+512.4%	3,200
EPS <sup>*3</sup>	円	-19.70	30.54	28.47	N/A	-6.8%	17.96	109.47	+509.5%	96.83
営業利益率		1.2%	5.8%	5.0%	+3.8pt	-0.8pt	3.1%	5.1%	+1.9pt	4.9%
当期利益率		-1.9%	2.7%	2.4%	+4.3pt	-0.3pt	0.4%	2.5%	+2.1pt	2.2%

為替レート <sup>*4</sup>	米ドル	円	149.67	146.79	152.73	+2.0%	+4.0%	150.95	149.85	-0.7%	145.00
	ユーロ	円	162.04	170.83	177.70	+9.7%	+4.0%	163.78	168.03	+2.6%	159.50
	人民元	円	20.98	20.49	21.48	+2.4%	+4.8%	20.97	20.81	-0.7%	20.40
	香港ドル	円	19.24	18.74	19.64	+2.1%	+4.8%	19.34	19.23	-0.6%	18.60
銅価格 <sup>*5</sup>		USD/ton	9,178	9,792	11,100	+20.9%	+13.4%	9,144	9,939	+8.7%	9,500

\*1 2025年2月7日発表 通期連結業績予想

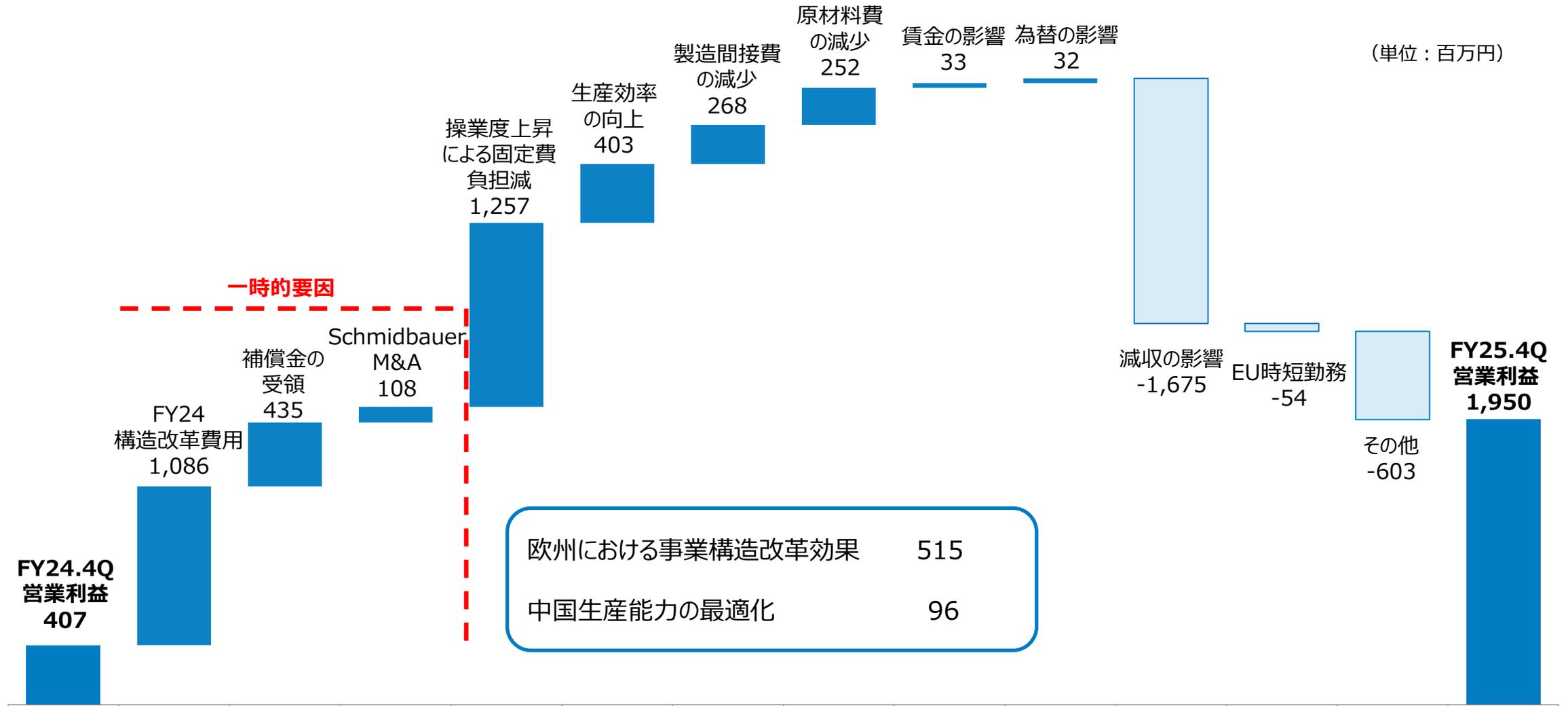
\*2 親会社の所有者に帰属する当期純利益

\*3 基本的1株当たり当期利益

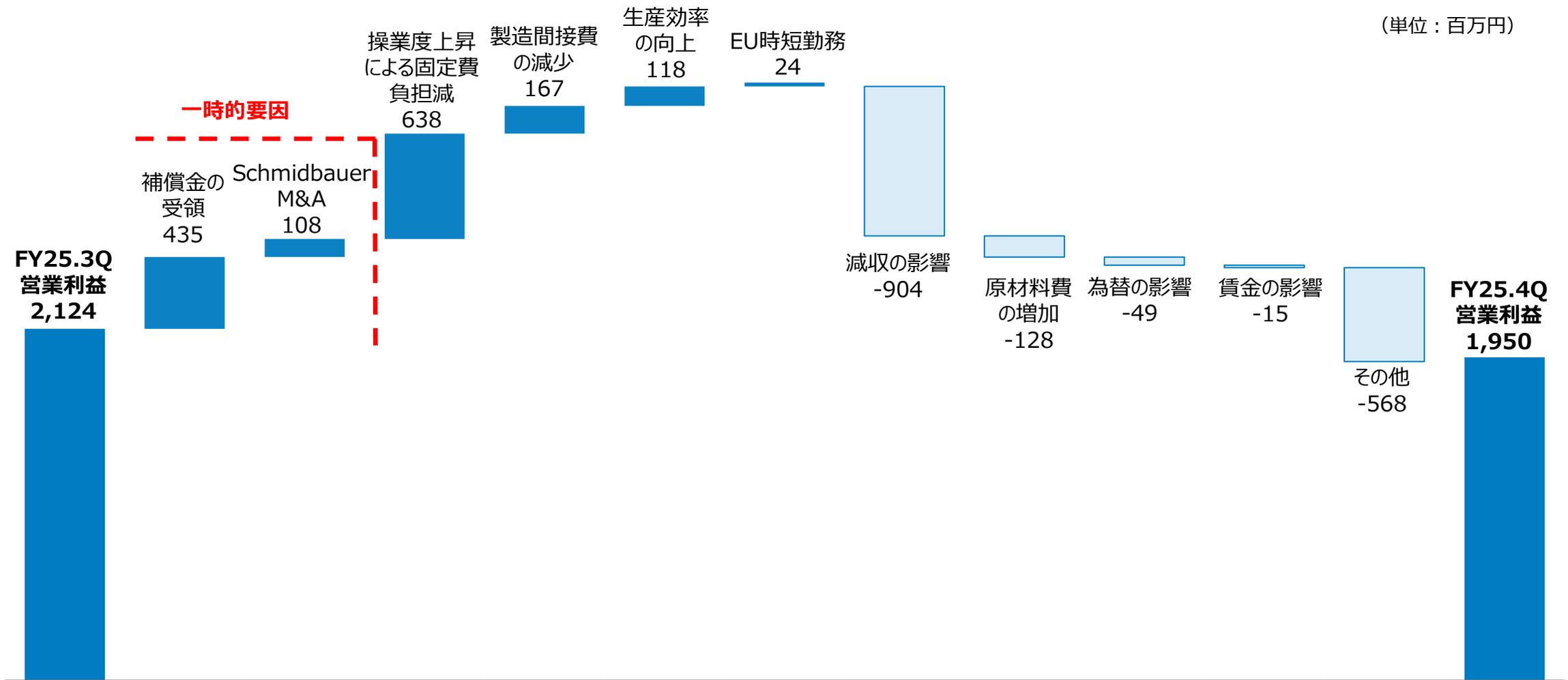
\*4 期中平均為替レート

\*5 LME市況値（対象期間各月平均の単純平均） LME: London Metal Exchange ロンドン金属取引所

# 営業利益増減要因分析 (YOY: FY2024.4Q ⇔ FY2025.4Q)

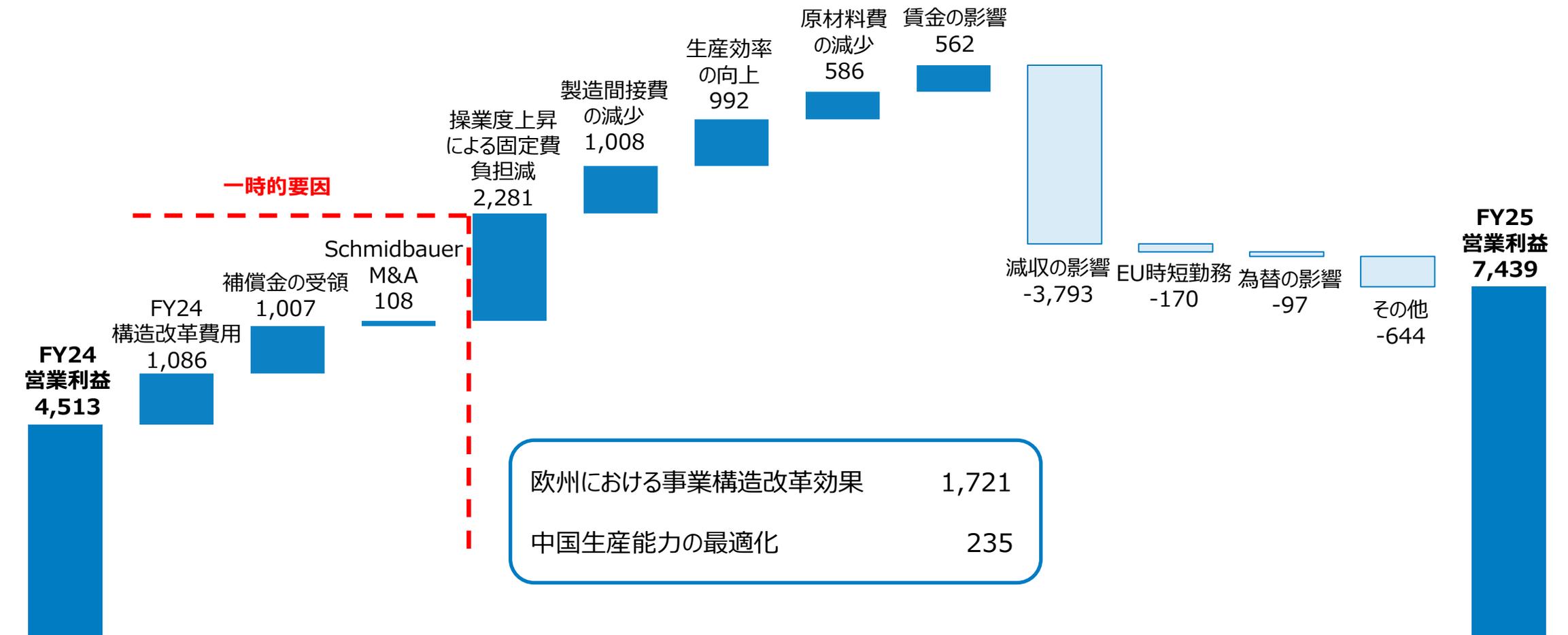


# 営業利益増減要因分析 (QOQ: FY2025.3Q ⇔ FY2025.4Q)



# 営業利益増減要因分析 (FY2024 ⇔ FY2025)

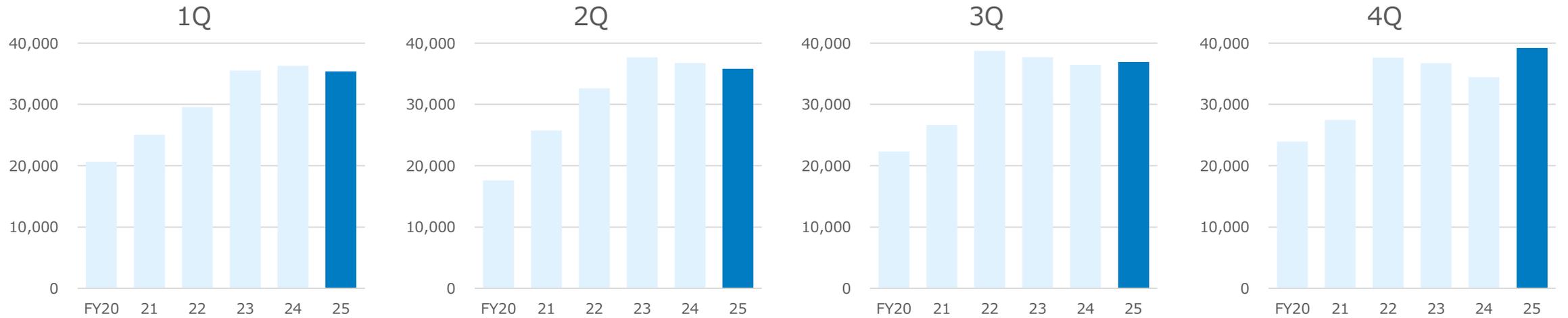
(単位：百万円)



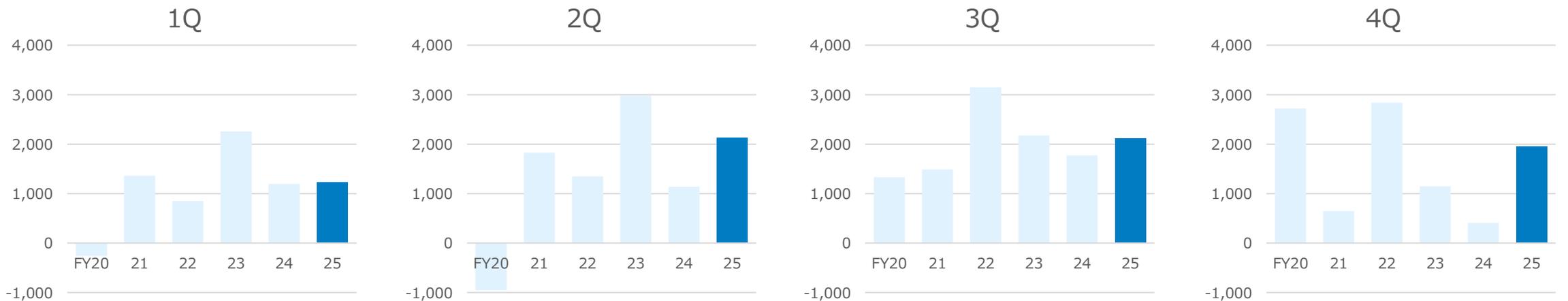
# 四半期売上高/営業利益

## 売上高

(単位：百万円)



## 営業利益



		FY24 12月末	FY25 12月末	増減額
現金及び現金同等物	百万円	4,286	6,129	1,843
営業債権及びその他の債権	百万円	30,167	32,500	2,333
棚卸資産	百万円	29,350	30,296	946
その他の流動資産	百万円	5,867	5,866	-1
流動資産	百万円	69,672	74,793	5,121
有形固定資産	百万円	54,906	56,002	1,095
のれん	百万円	5,730	8,157	2,426
無形資産	百万円	7,722	12,522	4,799
その他の非流動資産	百万円	9,734	12,181	2,446
非流動資産	百万円	78,094	88,862	10,768
資産合計	百万円	147,766	163,656	15,890

		FY24 12月末	FY25 12月末	増減額
営業債務及びその他の債務	百万円	14,960	16,895	1,934
短期有利子負債	百万円	30,964	38,170	7,205
1年以内返済予定又は償還予定の長期有利子負債	百万円	5,459	2,790	-2,668
その他の流動負債	百万円	10,285	10,352	67
流動負債	百万円	61,669	68,209	6,539
長期有利子負債	百万円	16,004	15,421	-582
その他の非流動負債	百万円	9,177	14,671	5,494
非流動負債	百万円	25,181	30,093	4,911
負債合計	百万円	86,851	98,302	11,450
資本合計	百万円	60,915	65,354	4,439
負債及び資本合計	百万円	147,766	163,656	15,890

\*1 Net DEレシオ：（（短期銀行借入+1年内長期銀行借入+長期銀行借入）-現金及び現金同等物）/親会社所有者に帰属する持分合計

\*2 期中平均為替レート

流動比率	-	1.13	1.10
Net D/Eレシオ*1	-	0.82	0.81
CCC	日	95	96

為替レート*2	米ドル	円	156.15	156.59
	ユーロ	円	162.70	183.58
	人民元	円	21.34	22.38
	香港ドル	円	20.11	20.12

		FY24	FY25	増減
税引前当期利益	百万円	1,295	4,830	3,535
減価償却費及び償却費	百万円	11,022	11,881	859
運転資本の増減	百万円	818	2,924	2,106
事業構造改革引当金の増減	百万円	1,027	-984	-2,012
その他	百万円	765	-2,195	-2,960
営業活動によるキャッシュ・フロー	百万円	14,928	16,457	1,528
設備投資	百万円	-7,860	-6,233	1,627
その他	百万円	-973	-6,653	-5,679
投資活動によるキャッシュ・フロー	百万円	-8,834	-12,886	-4,052
フリー・キャッシュ・フロー	百万円	6,094	3,570	-2,524

		FY24	FY25	増減
有利子負債の増減	百万円	-2,214	1,202	3,416
配当金支払	百万円	-1,771	-1,749	22
その他	百万円	-1,283	-1,412	-129
財務活動によるキャッシュ・フロー	百万円	-5,268	-1,958	3,310
現金及び現金同等物に係る換算差額	百万円	352	232	-120
現金及び現金同等物の期首残高	百万円	3,107	4,286	1,178
現金及び現金同等物の期末残高	百万円	4,286	6,129	1,843

		FY24 12月末	FY25 12月末	増減
DSO (売上債権回転日数)	日	73	79	+6
DIO (在庫回転日数)	日	85	87	+2
DPO (仕入債務回転日数)	日	63	70	+7
CCC	日	95	96	+1

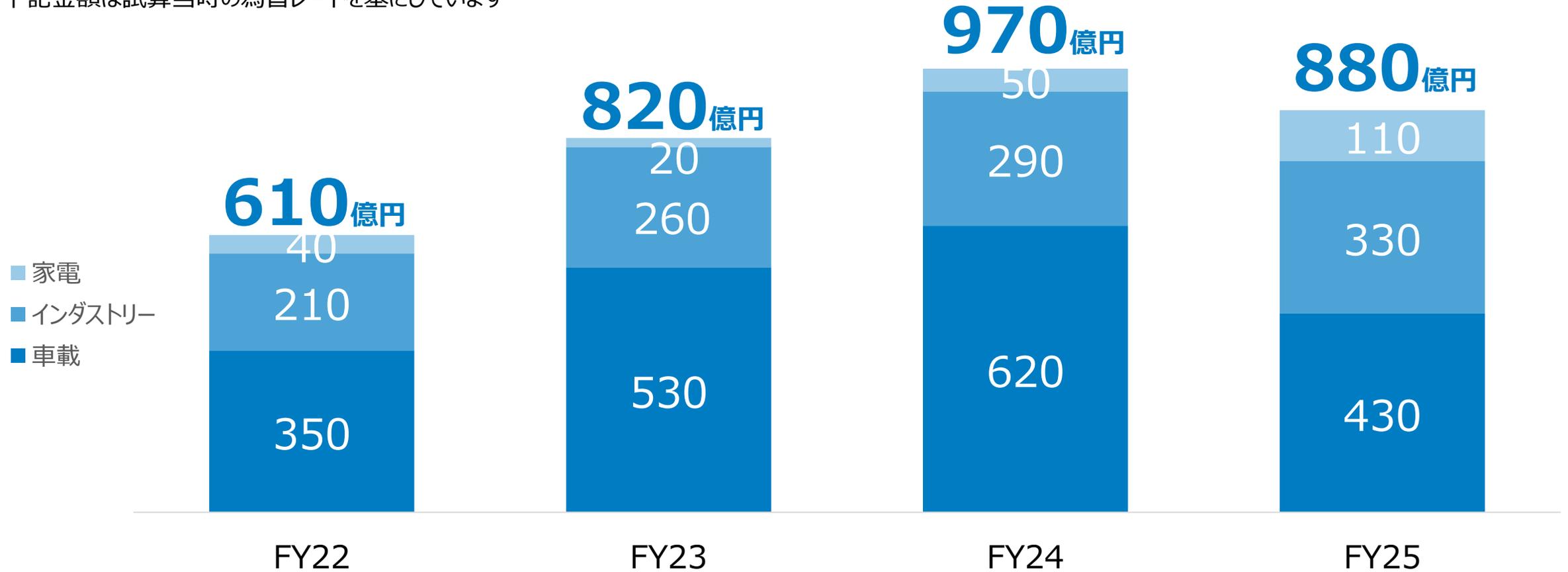
# 獲得案件推移

2025年は約880億円（ライフタイム\*）の新規案件を獲得。

\*各案件を開始してから終了するまでの期間の売上高の総額（案件獲得時）

\*各製品市場の製品サイクルや売上計上のイメージはP.49「当社のビジネスモデル ②」をご参考ください

\*下記金額は試算当時の為替レートを基にしています



\*10億円未満を切り捨ててで表示

1. 業績概要 (FY2025.4Q & 通期)
2. **FY2026 業績予想 / 配当予想**
3. 新中期経営計画2026-2028
  - ✓ これまでのふり返り
  - ✓ Vision to 2035
  - ✓ 中期経営計画2026-2028
4. Appendices

# FY2026 連結業績予想



引続き厳しい事業環境を見込みます。

中期経営計画2026-2028に掲げる取組みを着実に遂行し、収益力の強化・資本効率性の向上に努めます。

\* 本業績予想は顧客からの品名別見込みをベースに作成してます

		FY25 実績	FY26 予想	前期比
売上高	百万円	147,194	156,000	+6.0%
営業利益	百万円	7,439	7,500	+0.8%
税引前当期利益	百万円	4,830	4,850	+0.4%
当期利益 <sup>*1</sup>	百万円	3,618	3,650	+0.9%
EPS <sup>*2</sup>	円	109.47	110.40	+0.9%
営業利益率		5.1%	4.8%	-0.3pt
当期利益率		2.5%	2.3%	-0.2pt

為替レート <sup>*3</sup> 米ドル	円	149.85	150.00	+0.1%
	ユーロ	168.03	180.00	+7.1%
	人民元	20.81	21.43	+3.0%
	香港ドル	19.23	19.23	+0.0%
銅価格 <sup>*4</sup>	USD/ton	9,939	13,000	+30.8%

\*1 親会社の所有者に帰属する当期純利益

\*2 基本的1株当たり当期利益

\*3 実績については期中平均為替レート

\*4 実績についてはLME市況値（対象期間各月平均の単純平均） LME: London Metal Exchange ロンドン金属取引所

# FY2026 連結業績予想（市場別）

インダストリー市場、車載市場の回復を見込みます。  
中長期的にもインダストリー市場の拡大を見込みます。

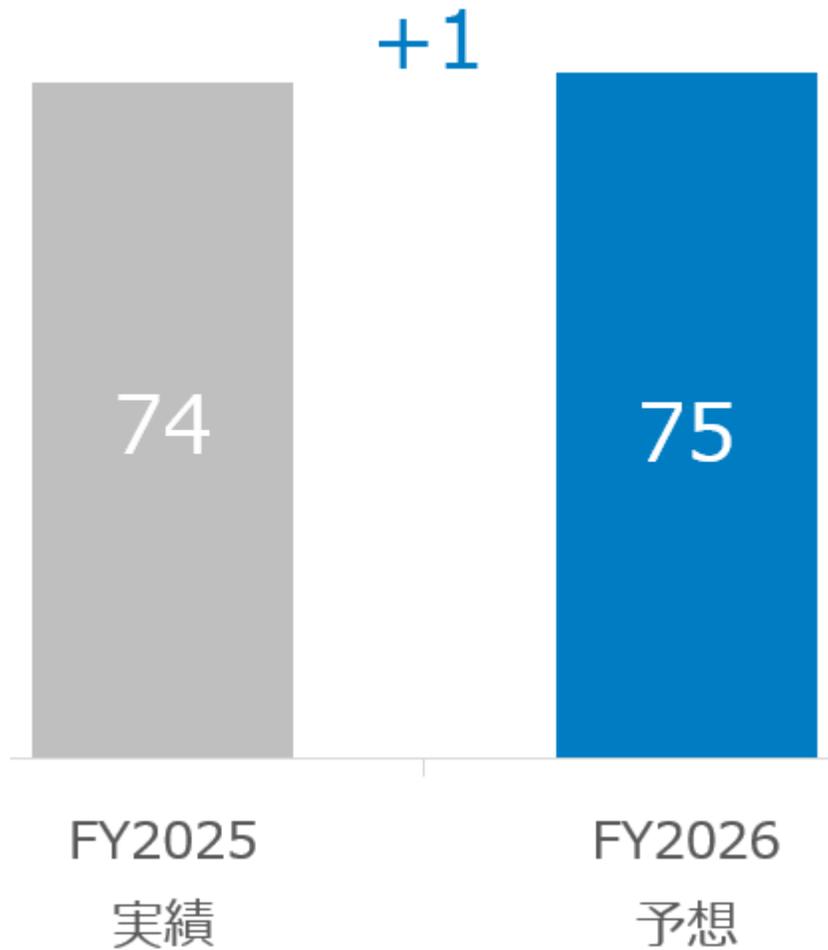
		FY25	FY26	
		実績	予想	前期比
市場別				
車載	百万円	85,415	91,300	+6.9%
インダストリー	百万円	39,312	42,300	+7.6%
家電	百万円	22,466	22,400	-0.3%
計	百万円	147,194	156,000	+6.0%

# FY2026 連結業績予想（営業利益増減要因分析）



(単位：億円)

(単位：億円)

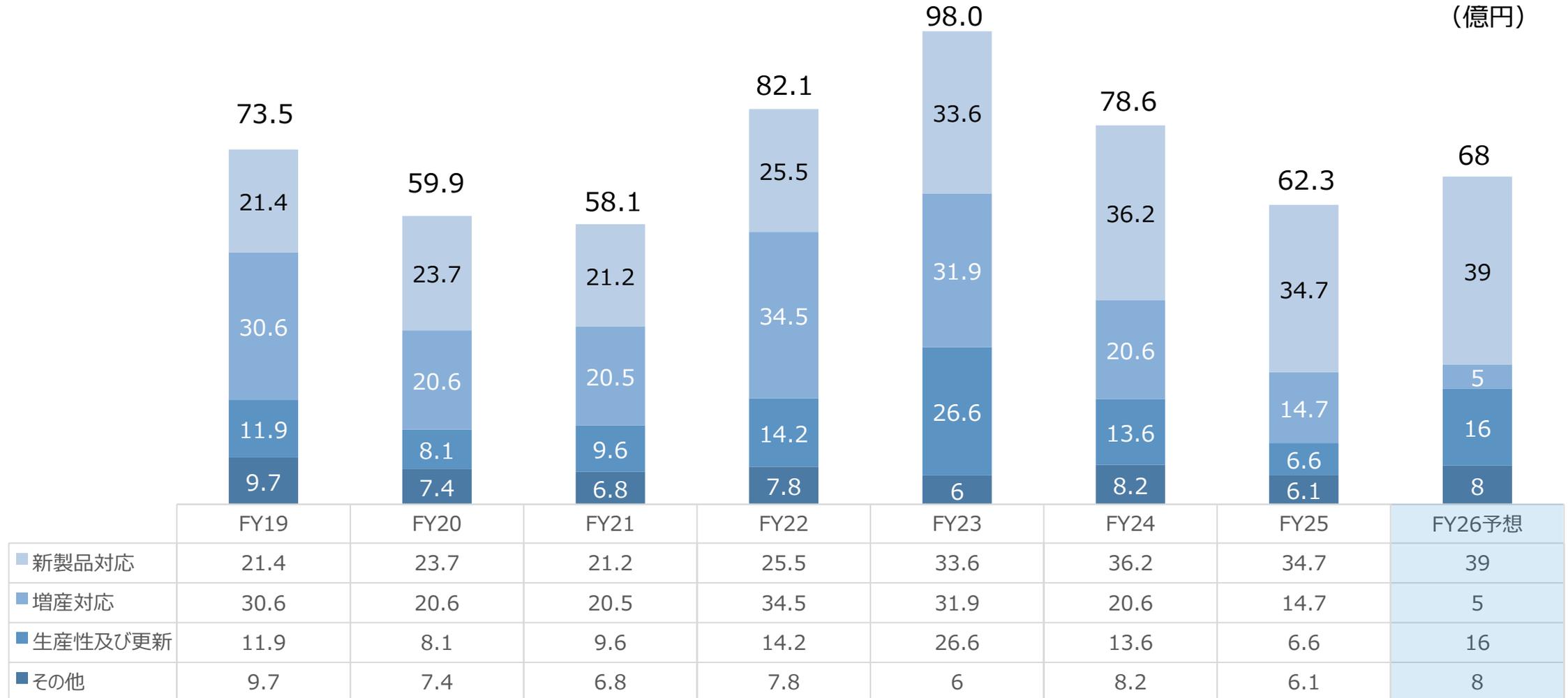


増益要因	欧州における賃金抑制（事業構造改革効果）	+10
	原材料費の削減	+10
	生産効率の向上	+9
	Schmidbauer M&A	+7
	中国生産能力の最適化	+2
	その他	+6
		<b>+44</b>
減益要因	銅価格の影響	-17
	賃金の影響	-13
	（一過性）FY2025 顧客からの補償金	-10
	売上による利益への影響	-2
	為替影響	-1
		<b>-43</b>
増益		<b>+1</b>

# FY2026 設備投資計画

2025年は、獲得済み案件の遅延や、受注数量が減っている環境下では生産効率改善投資の採算を見通しづらい等の状況において、採算性をより厳しく精査した上で投資を実行しました。

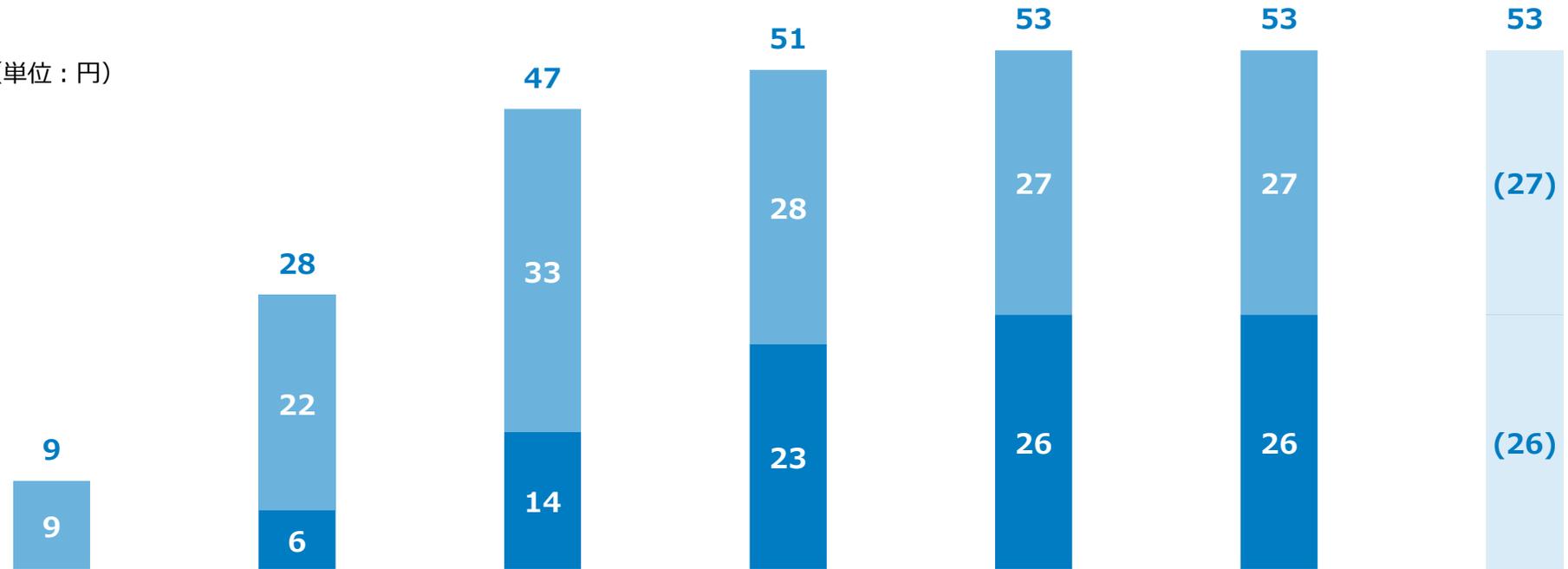
2026年は、新製品・増産対応とともに、生産性向上に向けた成長投資を拡大します。



# FY2026 配当予想

(単位：円)

- 上期配当 (実績)
- 下期配当 (実績)
- 配当予想



		FY20	FY21	FY22	FY23	FY24	FY25	FY26
通期	円/株	9.0	28.0	47.0	51.0	53.0	53.0	(53.0)
EPS	円	30.50	96.68	187.54	167.46	17.96	109.47	(110.40)
配当性向	-	29.5%	29.0%	25.1%	30.5%	295.1%	48.4%	(48.0%)
配当総額	百万円	244	761	1,278	1,664	1,750	1,752	(1,752)
DOE	-	0.7%	2.1%	3.0%	3.0%	3.1%	2.9%	(2.8%)

\* FY25の53円は、第2四半期末の26円と期末の27円（予定）の合計期末配当は予定であり、2月20日に開催する取締役会において確定します。

\* 上記括弧内は予想値

1. 業績概要 (FY2025.4Q & 通期)
2. FY2026 業績予想 / 配当予想
- 3. 新中期経営計画2026-2028**
  - ✓ これまでのふり返り
  - ✓ Vision to 2035
  - ✓ 中期経営計画2026-2028
4. Appendices

# Vision to 2035

## 中期経営計画2026-2028

スミダコーポレーション株式会社

# Contents

1. 中期経営計画2024-2026 ふり返り
2. Vision to 2035
3. 中期経営計画2026-2028

1. 中期経営計画2024-2026 ふり返り

2. Vision to 2035

3. 中期経営計画2026-2028

# 中期経営計画2024-2026 振り返り

- 中期経営計画2024-2026では、グリーンエネルギー関連を成長の柱と位置づけ大幅増収・増益を見込んだ。
- 2024年初より、欧州のEV補助金停止や米国の環境政策転換などにより市場環境が急変した。生産拡大に向けた設備・人員の増強により損益分岐点が高まる中、案件の遅延や需要減退が収益を圧迫した。
- 損益分岐点の改善と収益源の多様化を重点に、欧州・中国での人員削減を進め、インダストリー関連の案件獲得に注力した。さらに、2025年10月にインダストリー領域を補完するSchmidbauer社を買収した。
- 事業環境も当社の取り組みも当初想定から大きく変化している。現時点における事業環境の認識に立脚した成長戦略を再提示し、それを着実に実行することが責務であると認識している。

	FY2023 実績	中期経営計画2024-2026			
		FY2024 実績	FY2025 実績	FY2026 計画	FY2026 中計目標
売上高	1,476億円	1,439億円	1,471億円	1,560億円	1,900億円
内、グリーンエネルギー関連売上	367億円	389億円	394億円	420億円	670億円
営業利益	85億円	45億円	74億円	75億円	135億円
EPS	167.46円	17.96円	109.47円	110.40円	272.00円

# 中期経営計画2024-2026 振り返り (ESG - Environment)

中期経営計画2024-2026で掲げたESG目標については、  
2025年時点で概ね達成できる見通し。

## 中期経営計画2024-2026 取り組み課題

1. SUMIDAグループの技術開発と製品を通して二酸化炭素削減に貢献する
2. 資源の有効活用、廃棄物の削減、代替エネルギーの活用を推進して業務を遂行する
3. SUMIDAグループのあらゆるステークホルダーと共に国連開発計画が策定した17の持続可能な開発目標を達成する努力をし続ける

当社グループは、**2030年度の温室効果ガス (Scope 1&2) を2022年比42%削減**することを目指します。

	FY2022	FY2023	FY2024
温室効果ガス排出量 (Scope 1&2)	69,067 tons	64,486 tons	48,211 tons
削減率	-	6.6%	30.2%
達成度	-	15.7%	71.9%

\* FY2025実績は4月以降に算定完了の見込み

1. 中期経営計画2024-2026 ふり返り

**2. Vision to 2035**

3. 中期経営計画2026-2028

# 中長期の事業環境認識

2035年までに、環境、テクノロジー、地政学、人口動態の潮流が当社事業に影響すると認識。これらの潮流は、当社事業に対して機会にもリスクにもなり得る。

## 事業環境の認識

### 地球温暖化

- 脱炭素アプリケーション
- エネルギー源の多様化

### AI

- エネルギー消費量の増加

### 自国第一主義

- 経済デカップリング
- 安全保障上の抑止力

### 人口動態

- 省力化・省人化

## 当社事業における機会とリスク

- 「地産地消」: 地域分散型の供給網への需要の高まり
- 太陽光、風力発電、電力網の高効率化・更新
- あらゆる移送手段の電動化  
(自動車、バイク、特殊車両、船舶等)
- データセンター、メディカル、ロボティクス、ドローン、防衛等への投資高まり
- 市場拡大による価格競争激化と収益性低下

# SUMIDAの経営理念と強み

技術力とグローバル拠点を活かし、あらゆる電子機器に欠かせないコイル製品を提供してきた。

## 経営理念「技術と人の架け橋」

時代を超越した企業として、我々の想像力に富んだアイデアを実現し、世の中にパワーと勇気を与えるためのソリューションを提供する業界のリーダーとなる

**team sumida**  
global · speed · focus

## SUMIDAの強み

多様な技術の引き出しとグローバル拠点網を活かし、電子機器に欠かせないコイルをカスタム製造してきた。取引実績が次の案件の引き合いに繋がる好循環。

「巻き線」技術の中核とした多彩な技術の引き出しで、あらゆるご要望にカスタム対応

アジア・欧州・北米の各域内で設計・製造・販売を完結できる地産地消体制

技術力

グローバル展開力

実績

実績が積み上がるうちに、お客様から次の案件の引合いをいただくように

用途開発力

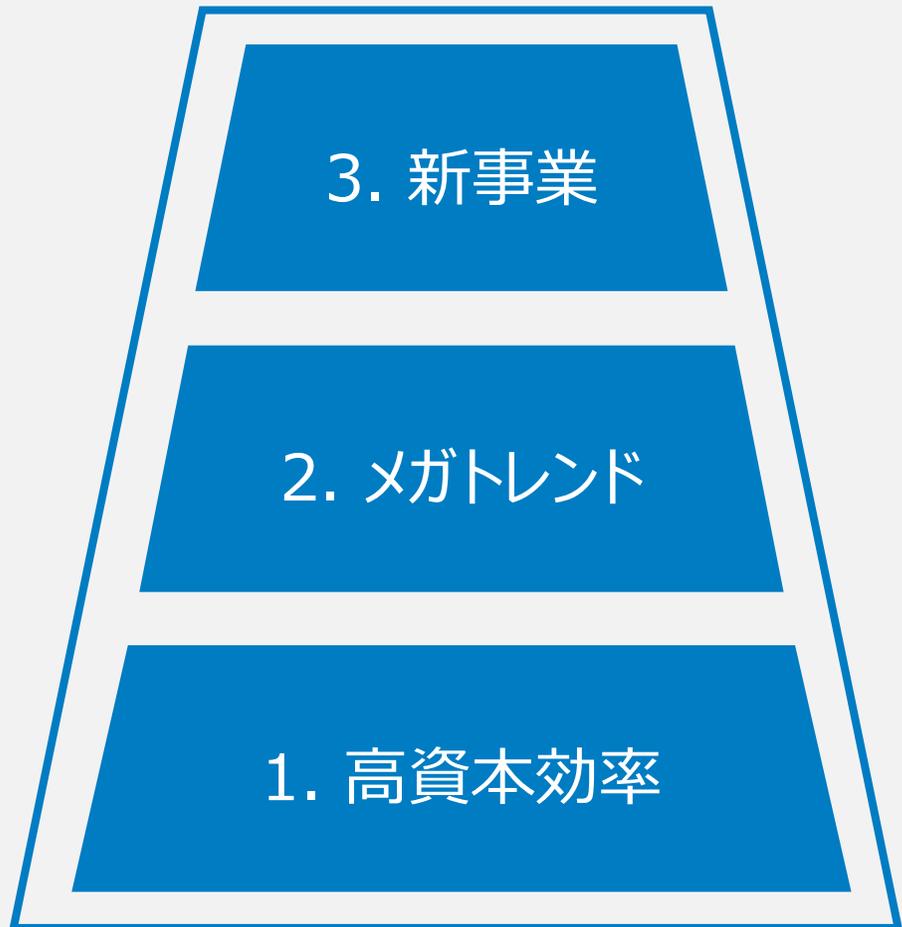
コイルはあらゆる電子機器に欠かせない。時代の流れとともに様々な電子機器に製品を提供してきた。

2035年にありたい姿

“Top Position  
in Multiple Niches”

# ニッチトップ戦略

2035年にありたい姿 “Top Position in Multiple Niches” に向け、ニッチトップ戦略を推進する。収益基盤を強化し、メガトレンドによる成長を追求しつつ、複数のニッチ市場で一番を目指す。



- **自社開発の独自技術を製品化。**  
模倣困難な価値を提供する新たな市場創出。
- **メガトレンドに即した用途市場での案件獲得。**  
従来のグリーンエネルギー関連(xEV, 自然エネルギー)に加え、電力網・移送手段・データセンター・メディカル・ロボット等
- **既存事業領域におけるキャッシュ創出力向上。**  
より早くお客様のご要望にお応えすることの追求。

# 2035年のSUMIDA製品用途イメージ

## メガトレンド



EV



動力源



再生可能エネルギー



ロボット



特殊車両



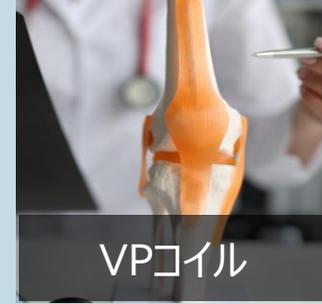
データセンター



蓄電池



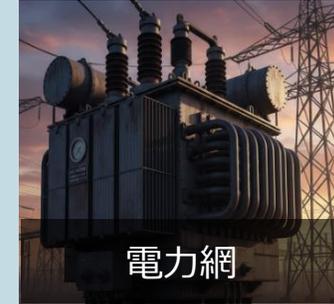
医療



VPコイル



量子磁気センサー



電力網



その他

## 新事業

## 高資本効率



車載



産業機器



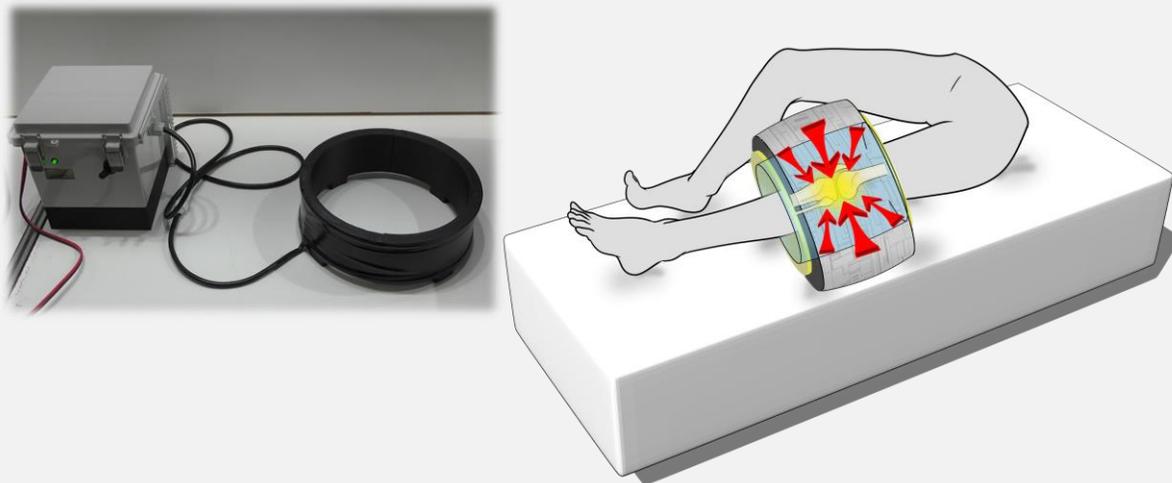
民生

# ニッチトップ戦略 - 3.新事業 - VPコイル技術の医療への応用

岩手大学発の微弱電場を非接触で生体の深部に到達させられるVPコイル技術を活用し、変形性膝関節症の治療を目指す。動物での臨床研究推進中。ヒトでの臨床研究実施の可能性を模索していく。

## 変形性膝関節症治療器試作品

- VPコイルによる生体深部への電場到達装置



## 変形性膝関節症マーケット

- 患者は世界で3億人、日本で1,500万人
- 保険適用の標準治療は鎮痛剤、湿布程度。症状が進むと人工関節置換手術
- ⇒ VPコイルにより疼痛緩和と進行抑制を目指す
- ⇒ 実績ある日系医療機器会社と共同で事業化予定
- ⇒ 動物での臨床試験にてPOCを取得後、ヒトでの臨床研究実施に向けた検討を加速

## 長期展望

- 昨年、共同研究先の東北大学がVPコイルでミトコンドリア膜電位 ( $\Delta\Psi_m$ ) が上昇することを学会発表
- ⇒  $\Delta\Psi_m$  上昇が治療に繋がると学術的に示唆のある神経変性、免疫、循環器疾患への適用の可能性を探索
- ⇒ 物理学を患者さんの希望にトランスレートする基盤技術へ

\*Scientific Reports 13, 16845 (2023) <https://www.nature.com/articles/s41598-023-43949-3>

当社の  
強み

- 米国の基本特許を保有
- 骨を増やす装置特許は日欧中で成立済
- 軟骨増の示唆がNature系雑誌\*で採択

# ニッチトップ戦略 - 3.新事業 - 量子センシング技術の高度計測への応用

- 京都大学との産学共同研究を通じて、ダイヤモンドNV中心を用いた高感度量子磁気センサーを開発中
- 高度計測分野における信号受信器として応用し、測定時間を1/10に短縮可能

## 研究開発実績

- 2018年より文部科学省の産学共同研究推進プログラムに参画  
2023年 JST A-STEP(本格型)\*に採択
- 当社の磁気技術、および京都大学が保有する量子磁気センシングに関わる知見を結集



\* 科学技術振興機構 研究開発最適展開支援プログラム

### 当社の強み

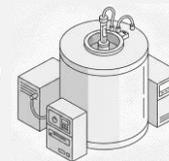
- 世界トップレベルの信号検出感度
- 戦略的に特許ポートフォリオを構築
- 独自のコイル設計技術・製造ノウハウ

## ターゲットアプリケーション

### アプリケーション

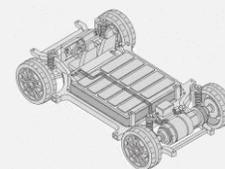
### 導入効果

NMR  
(核磁気共鳴)



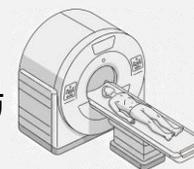
- ✓ 化学品、医薬品等の開発期間の短縮
- ✓ 経済的・環境的負荷の低減

二次電池  
品質検査



- ✓ 電池安全性の向上
- ✓ 電池生産コスト低減
- ✓ リサイクル電池の普及

MRI  
(核磁気共鳴  
イメージング)

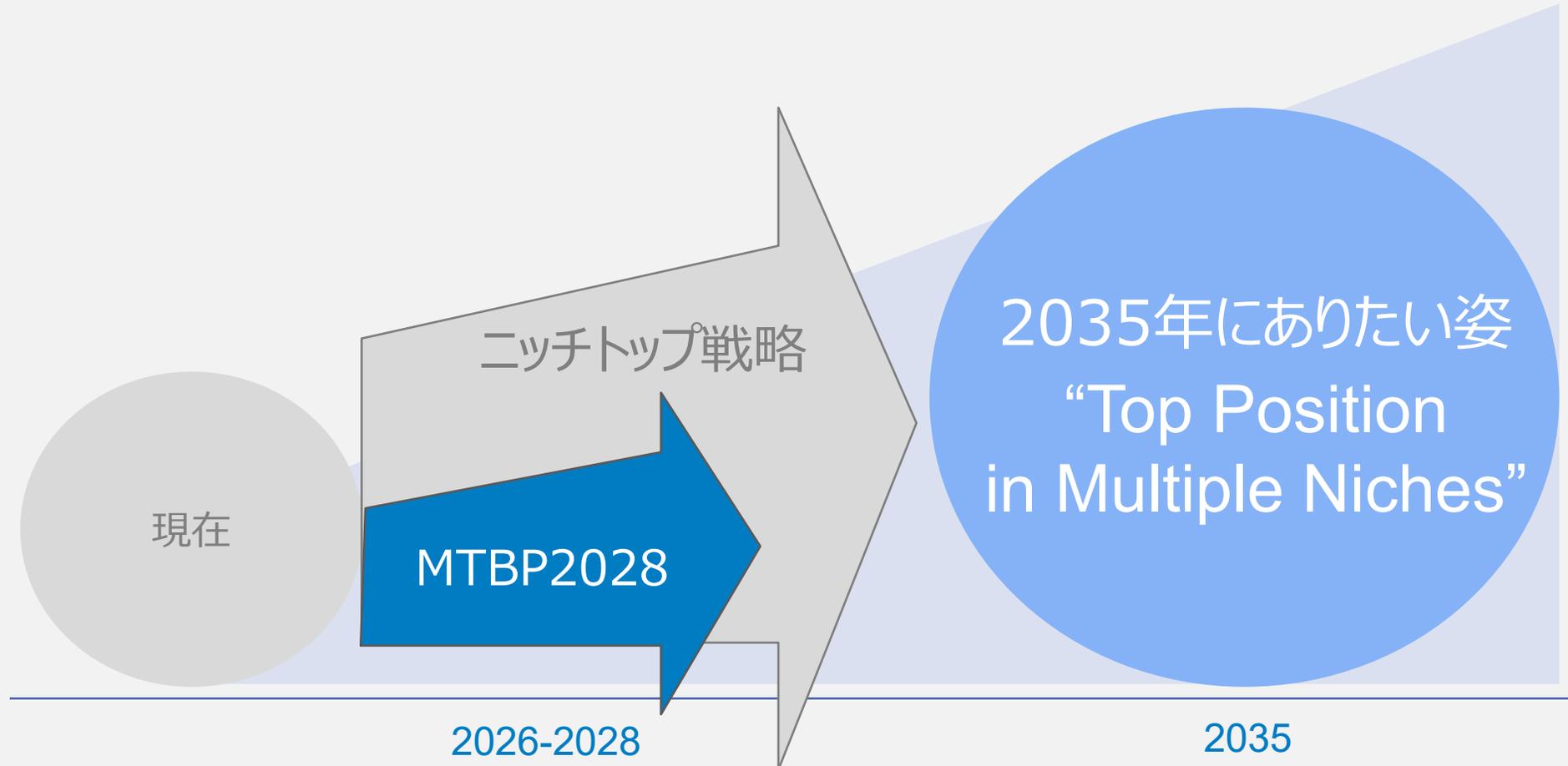


- ✓ 高画質診断画像の提供
- ✓ 検査時間短縮による患者負担の低減

1. 中期経営計画2024-2026 ふり返り
2. Vision to 2035
3. 中期経営計画2026-2028

# 中期経営計画2026-2028の位置づけ

2035年までのニッチトップ戦略において、2028年までに完遂を目指す取り組みと数値目標を本中期経営計画2026-2028（以下、MTBP2028）に記述する。



# 数値目標

売上高

FY2025  
1471億円

FY2028  
▶ **1650**億円

営業利益

FY2025  
74億円

FY2028  
▶ **100**億円

EPS

FY2025  
109.47円

FY2028  
▶ **174.00**円

ROIC

FY2025  
5.4%

FY2028  
▶ **6.7**%

# ニッチトップ戦略 - 1.高資本効率 -

## 戦略命題

既存事業領域におけるキャッシュ創出力向上

### プロセス高速化

営業・開発・設計が一体となるサンプル開発の迅速化  
権限移譲による意思決定の迅速化  
組織のフラット化による意思決定の迅速化  
AI活用による業務高速化

### 損益分岐点改善と「転用」

BEP改善: 製造の効率改善ノウハウを全社展開  
組織のスリム化による業務単位のムダトリ  
AI活用による業務効率化  
「転用」: 設備・治具の内製、新投資要領の運用  
市場・設計・製造等の知見を全社共有

案件獲得

間接人員を増やさない

固定資産を増やさない

# ニッチトップ戦略 - 2.メガトレンド -

## 戦略命題

メガトレンドに即した用途市場での案件獲得

### 重点市場への集中攻勢

- グリーンエネルギー関連、電力網、移送手段、データセンター、医療、ロボット等
- グリーンエネルギー関連は一時停滞しているものの、中長期的には伸びる領域と判断。

売上高	FY2025 実績	FY2028 計画	CAGR	獲得案件	FY2025 実績
車載	854億円	950億円	+3.6%	インダストリー	330億円
インダストリー	393億円	480億円	+6.9%	グリーンエネルギー関連	640億円
家電	224億円	220億円	-0.6%	* ライフタイム	
計	1,471億円	1,650億円	+3.9%		
グリーンエネルギー関連	394億円	500億円	+8.3%		

# ニッチトップ戦略 - 3.新事業 - Schmidbauerとのシナジー

Schmidbauer製品をスミダの東欧、アジア、北米地域で生産・販売することに加え、両社製品のクロスセル、技術・ノウハウの横断活用、製造拠点の最適活用を進める。



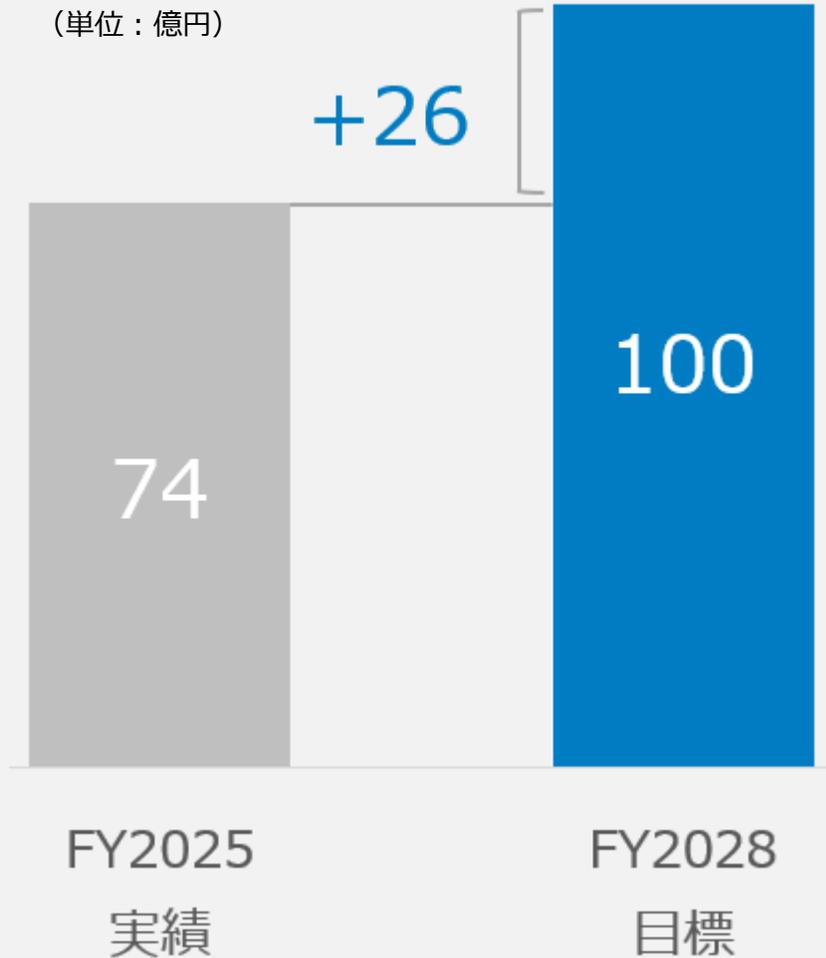
# 地域戦略

営業・開発・製造の3機能を各地域で完結し、現地のニーズに即応できる「地産地消」体制



# 営業利益増減要因分析 FY2025 ⇔ FY2028

(単位：億円)



増益要因	生産効率の向上	+25
	原材料費の削減	+24
	製造間接費の削減	+13
	増収効果	+11
	Schmidbauer M&A	+8
	その他	+2
	<b>増益</b>	<b>+83</b>
減益要因	賃金の影響	-28
	銅価格の影響	-17
	(一過性) FY2025 顧客からの補償金	-10
	為替影響	-2
		<b>-57</b>
<b>増益</b>		<b>+26</b>

# キャピタルアロケーション

最優先は「成長投資」、次いで「株主還元」。ネットD/Eレシオ0.6倍を目標に財務改善。

Cash In	Cash Out
営業CF 490億円	成長投資 200億円 + $\alpha$
	既存投資 130億円
	株主還元 60億円
	財務改善 100億円 - $\alpha$

**最優先は「成長投資」。**既存事業の資本効率を高めて資金を生み出し、メガトレンドや新事業へ投じる。

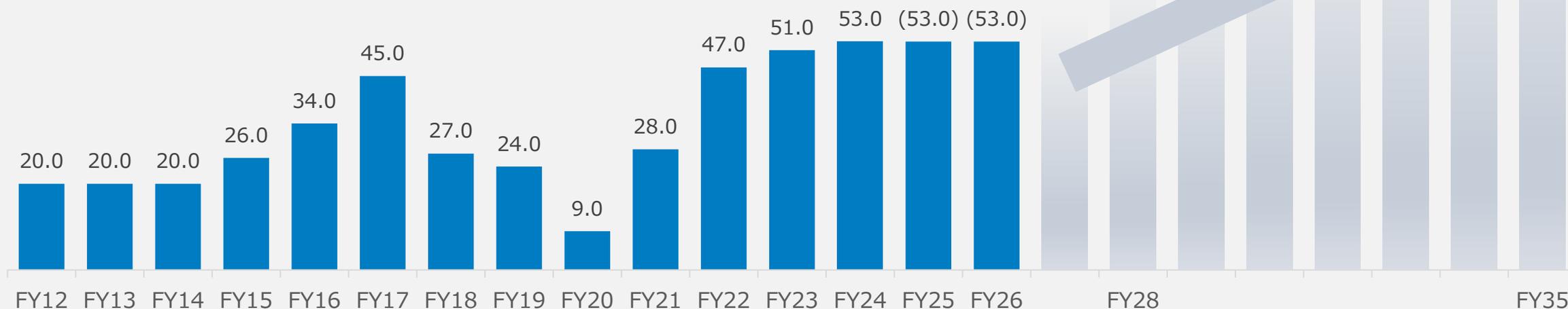
**次いで「株主還元」。**2025年に改訂した配当方針に則り、配当による利益の配分を行う。

**ネットD/Eレシオ0.6倍を目標に財務改善を進める。**ただし、M&Aなど成長投資の好機があれば、1.0倍までの一時的な上昇は許容。

# 株主還元方針

当社は株主の皆様に対する利益還元として、配当による利益の配分を最優先に考えており、**連結配当性向30%以上**を勘案した配当を実施することを基本方針としています。なお、実際の連結業績により、この基本方針による配当が適切でない場合には、**株主資本配当率（DOE）3%等**も考慮した上で、剰余金分配可能額の範囲で株主還元の充実を図っていきます。

単位（円）



\* FY25の53円は、第2四半期末の26円と期末の27円（予定）の合計期末配当は予定であり、2月20日に開催する取締役会において確定します。

\* 上記括弧内は予想値

# 2028年度までに取り組みを完遂し、企業価値の向上を目指す

## 2028年度までに完遂する取り組み

### ■ ニッチトップ戦略

#### 1. 高資本効率

- プロセス高速化 ▶ **間接人員を増やさない**
- BEP改善と「転用」 ▶ **固定資産を増やさない**

#### 2. メガトレンド

- 重点市場への集中攻勢 ▶ **案件獲得**

#### 3. 新事業

- Schmidbauerとのシナジー創出  
▶ **シナジー案件による利益成長**
- VPコイルを**治験段階まで**
- 量子磁気センサーの**製品化に目途**

### ■ 地域戦略

#### アジア

- 中国ローカル案件獲得
- インド案件獲得

#### 北米

- R&D、製造技術体制の強化

#### 欧州

- SchmidbauerのPMI
- 新領域における案件獲得

## 企業価値の向上

### 成長性

EPS

109.47 ▶ 174.00円

### 収益性

営業利益率

5.1% ▶ 6.1%+

固定資産回転率

2.7 ▶ 3.2倍

CCC

96 ▶ 89日

### 安定性

Net D/E

0.81 ▶ 0.60倍-

ROIC

5.4% ▶ 6.7%+

WACC

5.0% ▶ 5.0%-

PBR

0.6 ▶ 1.0倍+

1. 業績概要 (FY2025.4Q & 通期)
2. FY2026 業績予想 / 配当予想
3. 新中期経営計画2026-2028
  - ✓ これまでのふり返り
  - ✓ Vision to 2035
  - ✓ 中期経営計画2026-2028
4. Appendices

当社は技術力を磨きグローバルに展開しながら、創業から一貫してコイルの新たな用途を開発し続けてきた。各地域・市場において主導的な地位にある顧客との取引実績を築き、継続的に引合いをいただいている。

## SUMIDAの強み

多様な技術の引き出しとグローバル拠点網を活かし、電子機器に欠かせないコイルをカスタム製造してきた。取引実績が次の案件の引き合いに繋がる好循環。

「巻き線」技術の中核とした多彩な技術の引き出しで、あらゆるご要望にカスタム対応

アジア・欧州・北米の各域内で設計・製造・販売を完結できる地産地消体制

技術力

グローバル展開力

実績

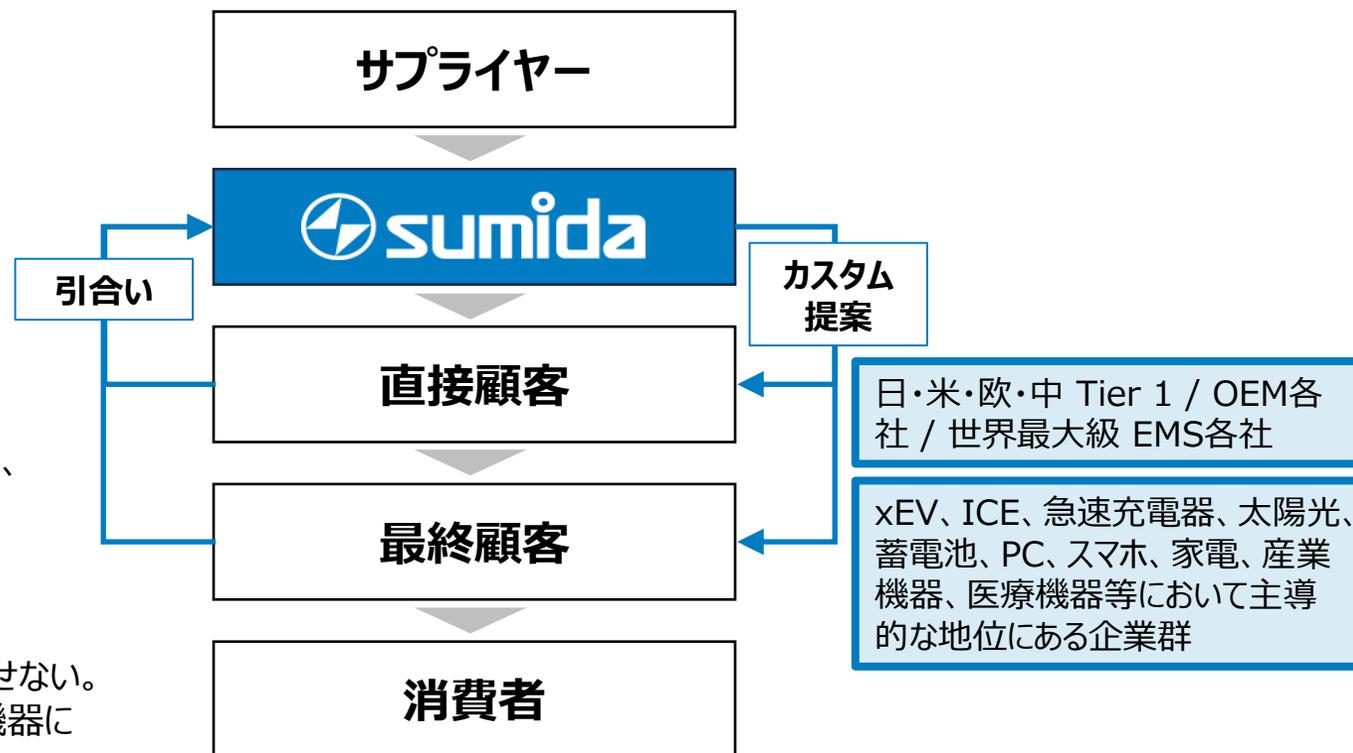
用途開発力

実績が積み上がるうちに、お客様から次の案件の引合いをいただくように

コイルはあらゆる電子機器に欠かせない。時代の流れとともに様々な電子機器に製品を提供してきた。

## 当社事業における商流

各地域・市場において主導的な地位にある顧客との取引実績

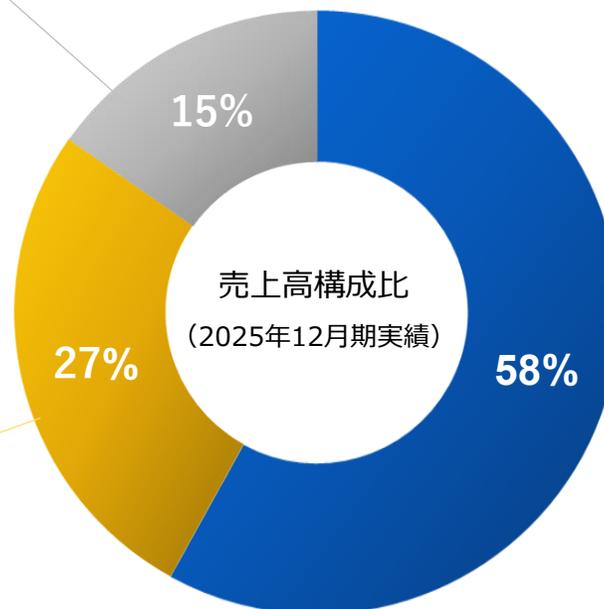


当社の手掛けるカスタム案件では、製品市場別に概ね以下のような時間軸で売上が計上される。

	車載	インダストリー	家電
案件獲得から売上計上までの期間	2~3年	2~3年	1~2年
	<div style="border: 2px solid green; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>GREEN</b>  <b>1~2年</b> </div>		
生産開始後の売上推移 (イメージ)			
製品ライフサイクル (イメージ)	5年超	7年超	3年超



■ 車載市場 ■ インダストリー市場 ■ 家電製品市場





携帯電話の充電器



AED（自動体外式除細動器）



太陽光発電装置



自動車（キーレスエントリーシステム）



自動車（ABS：アンチロック・ブレーキシステム）



自動車（xEV パワートレイン）

# 重点分野：車載関連

**アンテナ**

イビディガ  
アンテナ

スマートキー  
車側 LFアンテナ

スマートキー  
キー側RXアンテナ

フレキシブルボード  
コネクタ

**LED**

ヘッドライト駆動回路の  
電源用コモンモードチョーク

コモンモードチョーク

フレキシブルボード  
コネクタ

パワーインダクタ

電源トランス

**エアコンディショナー**

高耐圧トランス

フレキシブルモジュール

HV 入力  
インダクタ

可変容量コンプレッサ  
コントロールバルブ用  
アクチュエータ  
モールドコイル

EMC チョーク

**シフトロック**

BTSI

**エアバッグ**

FFC  
ジャンパー  
ケーブル

**ECU**

パワーインダクタ

RF チップ インダクタ

ZIF ジャンパー  
ケーブル

バッテリーチョーク

棒コイル

**インジェクション**

インジェクション  
モールドコイル  
ディセーブルステータ

**トランスミッション**

CVT 油圧制御用  
アクチュエータモールドコイル

**ビスカスクラッチ**

AWDIエンジンファン

**エンタテインメント**

Haptic  
アクチュエータ

パワーインダクタ

デジタルアンプ用LPFコイル

**ABS/ESC**

**バックソナー**

超音波素子駆動用  
昇圧トランス

**CAN  
BU**

コモンモードチョーク

# 重点分野: 車載関連 xEV

## フィルタモジュール



カスタム設計  
最大800 Vの電圧  
300 Aまでのアンペア数  
安全基準に準拠

昇圧インダクタ

## インバータ向けゲートドライブトランス



IGBT & SIC ドライブ 電源トランス パワー インダクタ

## 内部電源用のSMPS



## ADAS & BMS



Li-ion バッテリ  
監視用絶縁トランス



パワー インダクタ



バッテリー  
過電流保護コイル

## DC-DC コンバータ for HVDC



電源トランス

結合型/リークage  
インダクタ

## EV急速充電器



電源トランス

ゲートドライブトランス

チョーク  
モジュール

## EV向けワイヤレス給電



マッチングトランス

ワイヤレス充電

## RPS



HEV/EV  
モーター制御・  
ロータ位置  
センサー



SMD-R

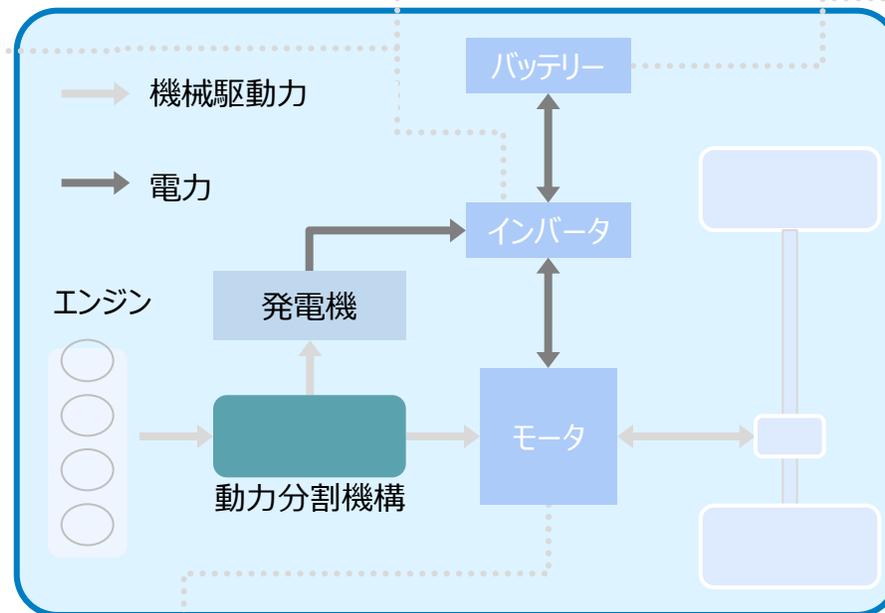
## FOR MILD HV (BSG/ISG)



大電流  
パワー インダクタ



バスバー



## 車載充電器 (OBC)



電源トランス

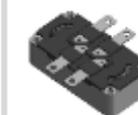


パワー インダクタ



フラットケーブル

カレントトランス



PFCEモジュール

# 重点分野：インダストリー関連

## 太陽光発電



PFC インダクタ



ACチョーク



DMC  
フィルタ  
チョーク  
モジュール

リアクトル  
チョーク  
モジュール



電源トランス

## 風力発電



DCリンク  
チョーク



エッチワイズ  
コイル



フレキシブル  
ボードコネクタ

## 通信機器電源用



アイレーショントランス



コモンモードチョーク



棒コアチョーク

## 信号



RFチップ  
インダクタ

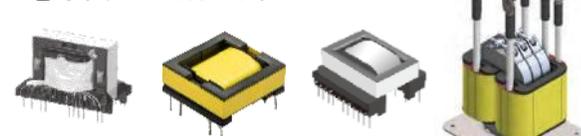
電源トランス



## フォークリフト、 ハイブリッド 建設機械



電源トランス&リアクトル



フラットハーネス



フレキシブルボード  
コネクタ



## ソレノイド



## 油圧バルブ コイル



## 発電用 インバータ



DCL/AC  
L リアクトル



電源トランス

## セキュリティ、RFID



アンテナコイル



RFチップ インダクタ



コモンモードチョーク



AC ラインフィルタ



ノーマルチョーク

## 医療機器



## 産業ロボット向けコントロールシステム



リアクトル



電源トランス



パワーインダクタ



フレキシブルボードコネクタ

## 5G移動通信基地局



コモンモードチョーク



PoEトランス



パワー インダクタ



## 携帯機器（スマートフォン・タブレットPC） & ACアダプタ・ワイヤレス充電器



## LED 照明



## ゲーム機



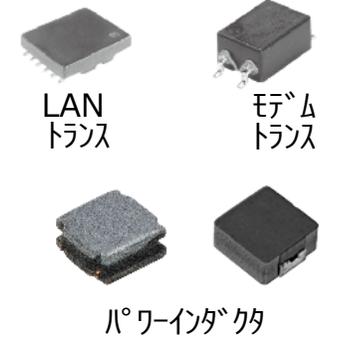
## 液晶テレビ



## デジタルカメラ



## SERVER



## プリンタ



## 家庭用電化製品



## パワーインダクタ

## ノート PC



2026年2月6日

各位

会社名 Sumida Corporation  
 代表者名 代表執行役 CEO 堀 真二  
 証券コード 6817 東証プライム市場  
 問合せ先 広報・IRチーム Tel. 03-6758-2470

**Sumida Electronic Vietnam Co., Ltd. 新工場稼働に関するお知らせ**

当社グループの Sumida Electronic Vietnam Co., Ltd. (以下、Hai Phong 工場) の新工場稼働について、以下のとおりお知らせいたします。

記

1. 新工場稼働の経緯および目的

ベトナムにおける当社グループ工場は、以下のように規模を拡大して参りました。従来のハイフォン工場はリースのため拡張余地が限定的でしたが、この度新たに自社工場を設け、従来の工場より生産設備を移設し、2026年1月より稼働を開始しました。新工場は従来の工場に比べて最大3倍まで拡張することが可能です。現在は家電向け製品のみ生産しておりますが、需要が高まっている車載向け製品も生産して参ります。

**ハイフォン新工場**

工場名	設立年月	目的	延床面積
ハイフォン旧工場	2010年2月	新設	4,423 ㎡
ハイフォン新工場	2026年1月	新設	12,131 ㎡

工場名	設立年月	目的	延床面積
クアンガイ第1工場	2016年1月	新設	10,000 ㎡
クアンガイ第2工場	2022年1月	増設	20,000 ㎡
クアンガイ第3工場	2022年11月	増設	33,000 ㎡

発行日	2026年2月6日
工場名	ハイフォン新工場
稼働開始日	2026年1月2日
生産品目	民生部品用インダクタ、トランス
延床面積	12,131㎡

背景と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 従来工場がリースだったため拡張余地が限定的であった</li> <li>✓ 新たに自社工場を設けたことにより、従来工場に比べて最大3倍まで拡張可能になった</li> </ul>
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 家電向け製品に加えて、今後は車載向け製品も生産</li> </ul>

詳しくは[こちら](#)

## AIデータセンター イメージ図

HV (High Voltage) 配電

カスタム性の高い超大型トランス、チョーク

メイン電源 - MV (Medium Voltage) 配電

カスタム性の高い大型トランス、チョーク

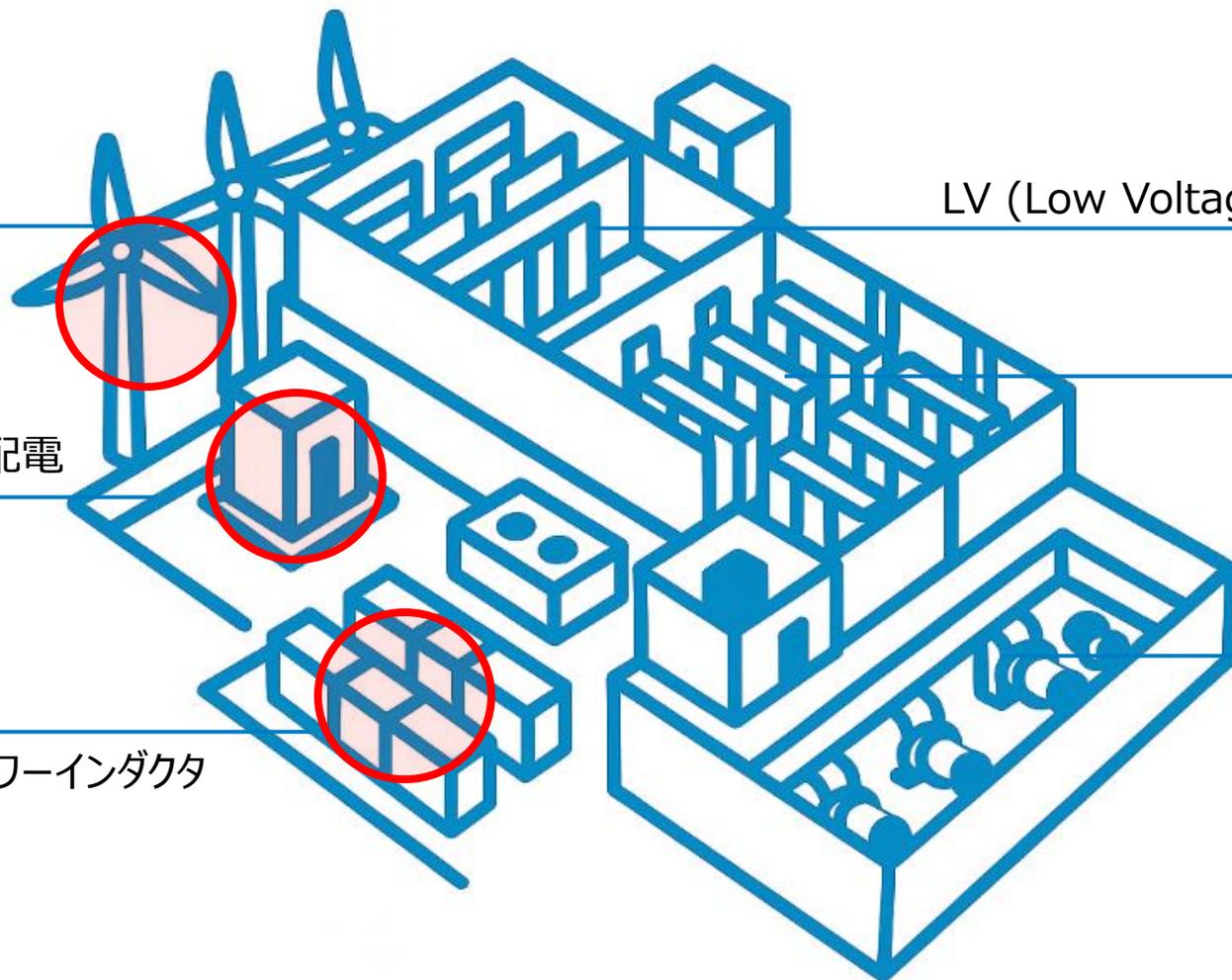
サブ電源 - 蓄電池

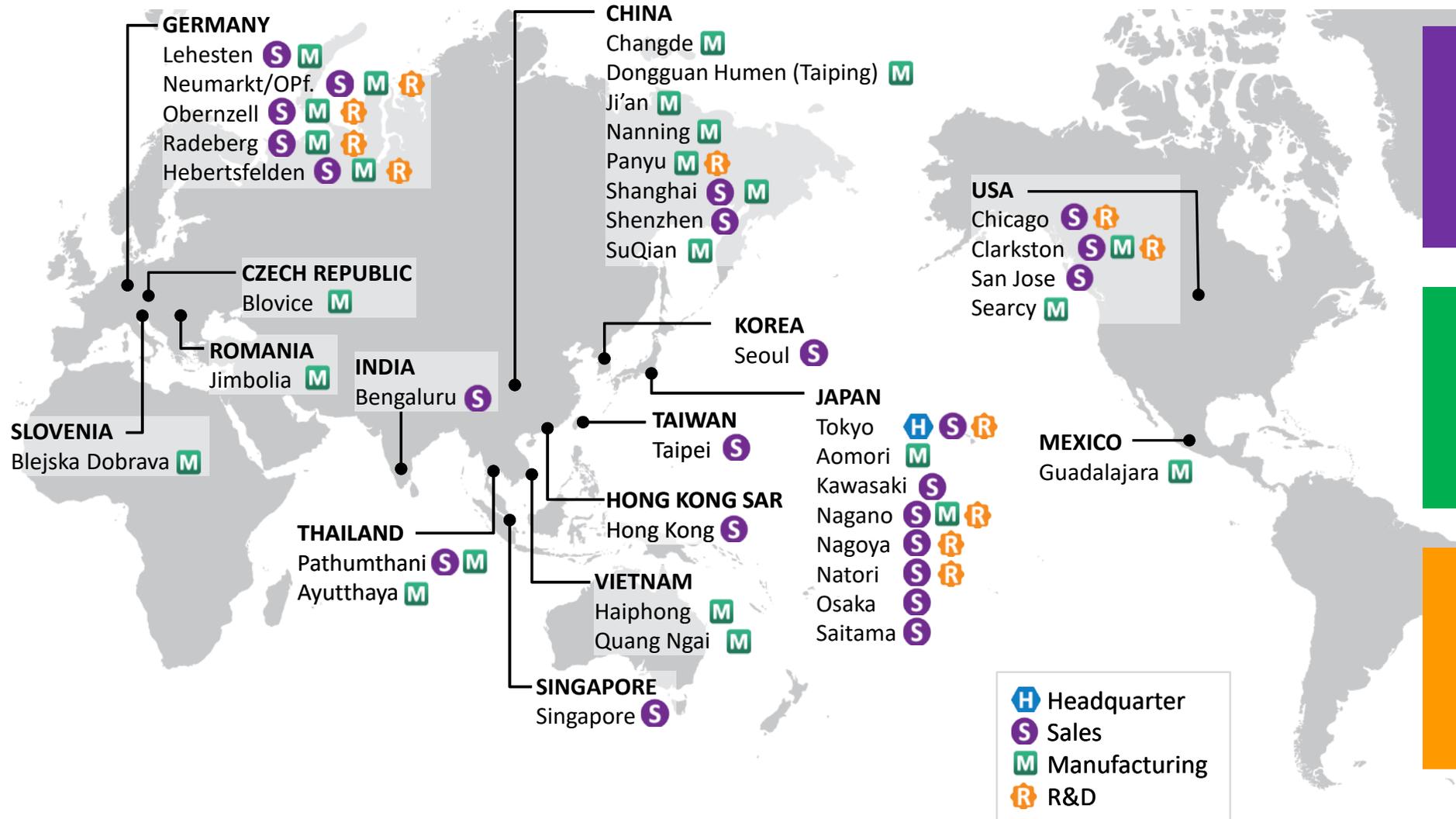
カスタム性の高いトランス、チョーク、パワーインダクタ

LV (Low Voltage) 配電

サーバールーム

冷却ユニット (全体)





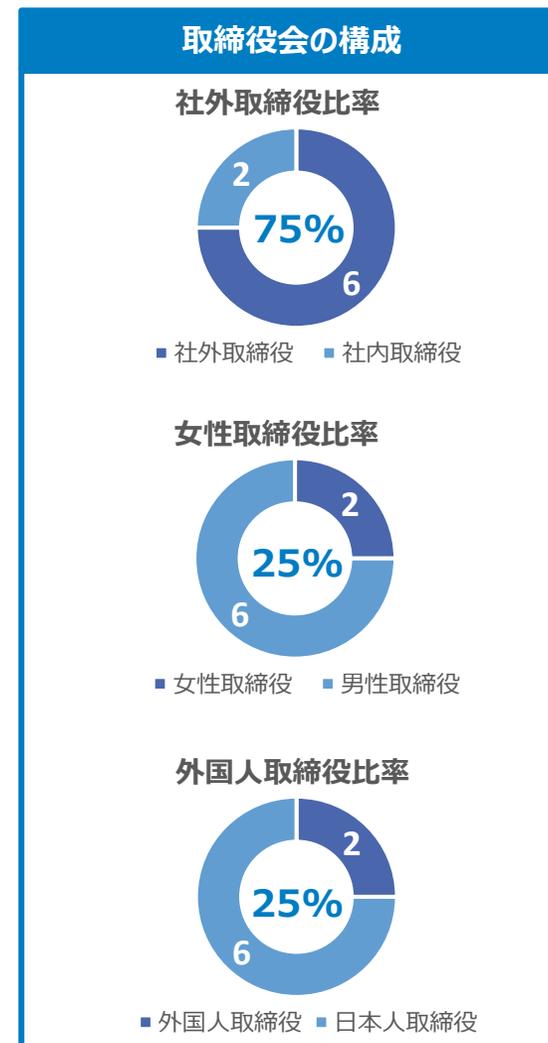
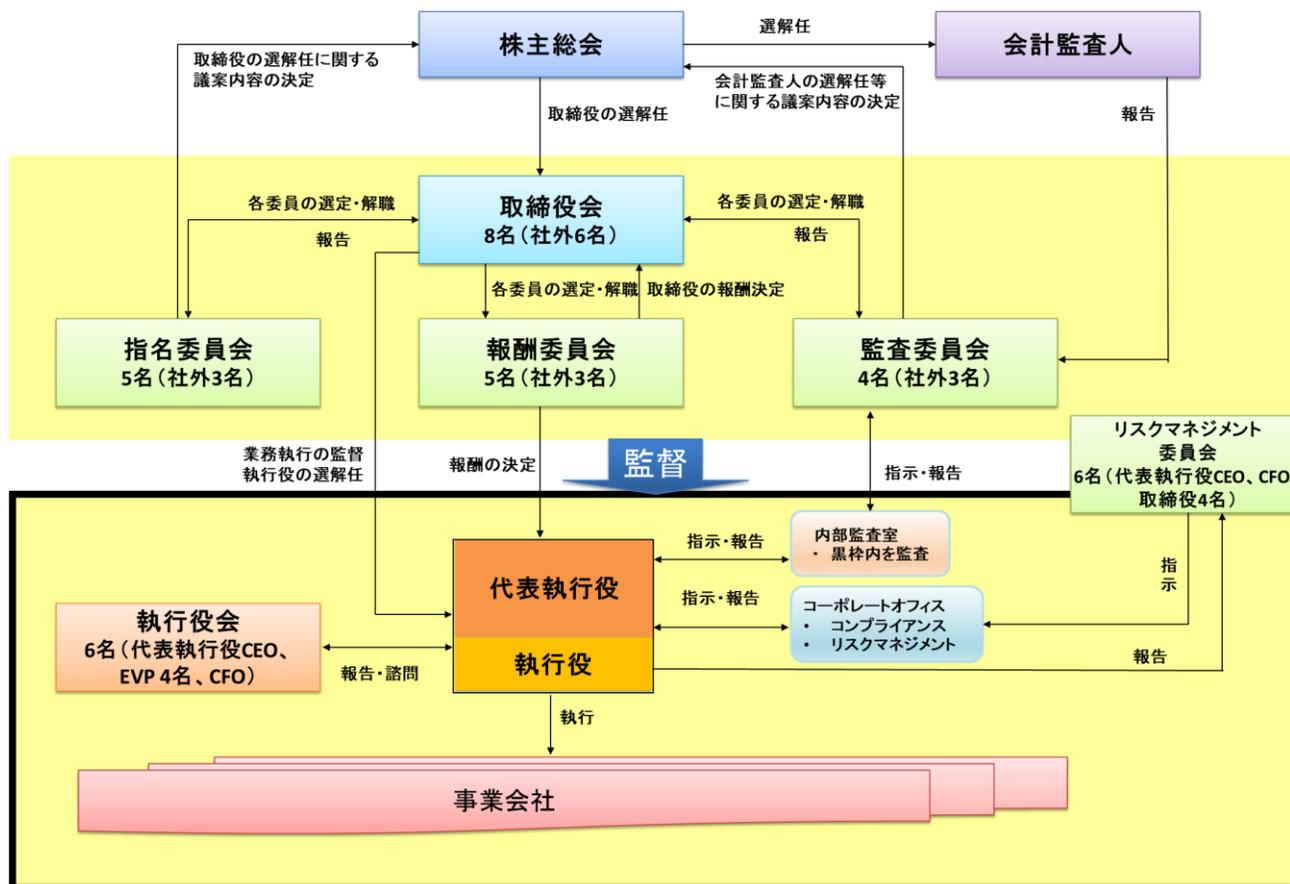
**販売 (23拠点)**  
 アジア 15拠点  
 欧州 5拠点  
 北米 3拠点

**製造 (24拠点)**  
 アジア 13拠点  
 欧州 8拠点  
 北米 3拠点

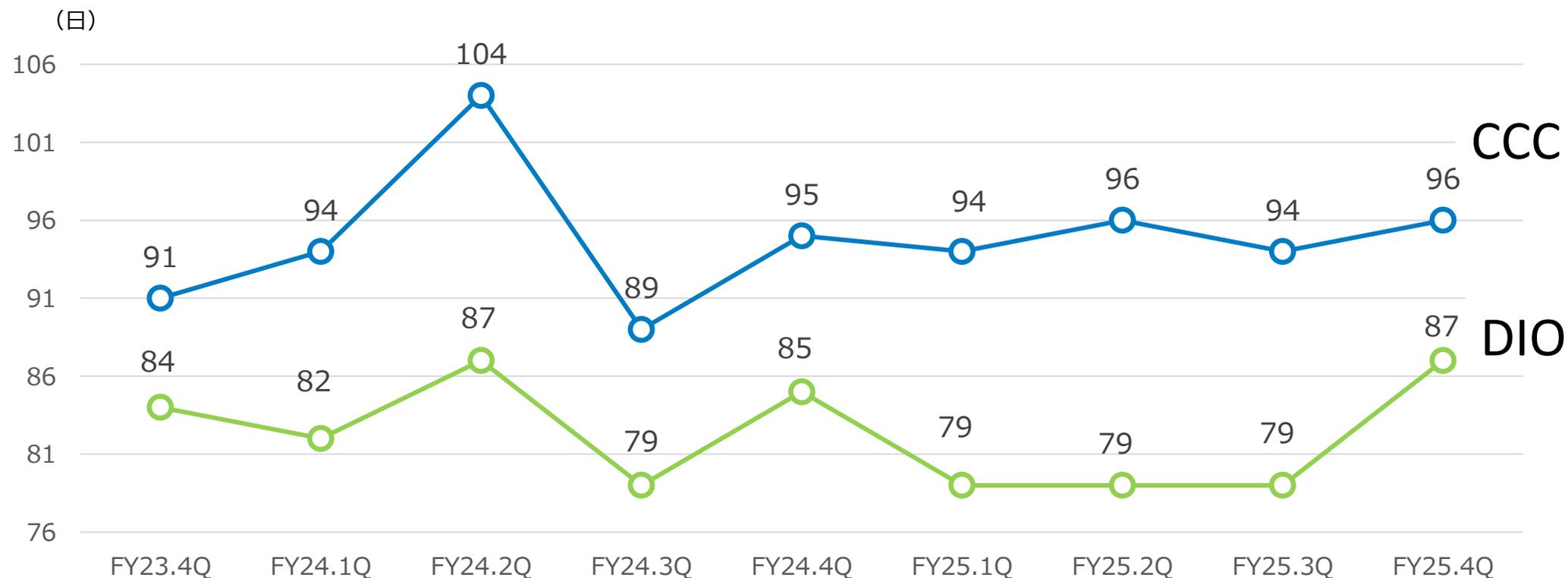
**R&D (11拠点)**  
 アジア 5拠点  
 欧州 4拠点  
 北米 2拠点

- ✓ SUMIDAは日本国内上場企業で最初に会社法上の機関設計として「指名委員会等設置会社」を採用しています
- ✓ 法定3委員会（指名・監査・報酬）の議長は独立社外取締役が務め、委員の過半数を独立社外取締役としています
- ✓ 取締役会及び指名・報酬委員会は全て英語で実施されます

## コーポレートガバナンス体系図



# CCC / 在庫回転日数 (DIO)



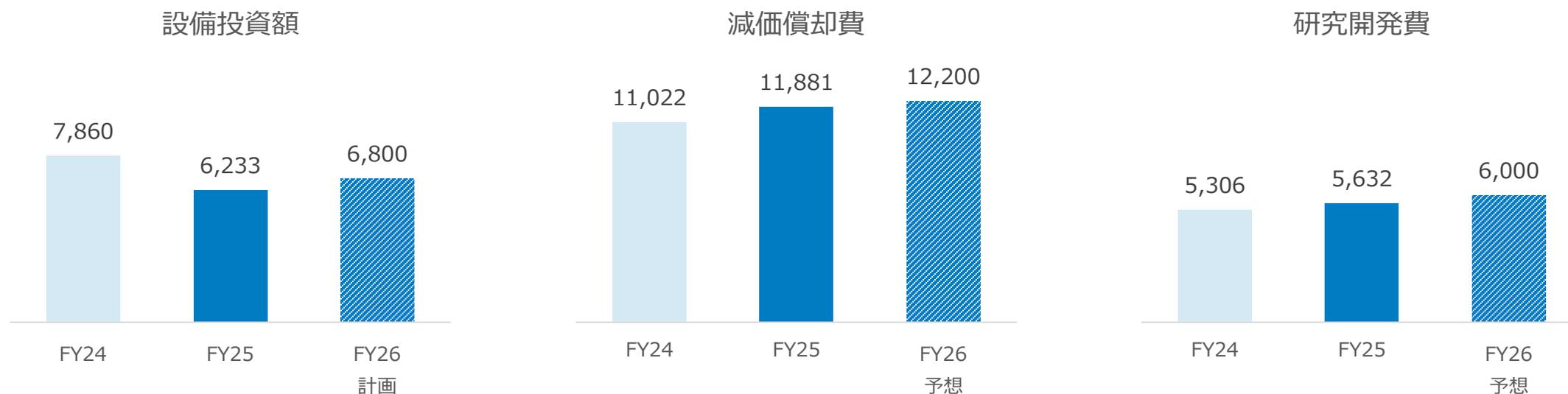
期末為替レート

米ドル/円	141.51	151.43	160.93	142.36	156.15	149.14	144.11	148.05	156.59
ユーロ/円	156.54	163.36	172.14	159.05	162.70	161.55	168.98	173.84	183.58
人民元/円	19.90	20.86	22.03	20.42	21.34	20.52	20.11	20.77	22.38
香港ドル/円	18.12	19.35	20.61	18.33	20.11	19.17	18.36	19.03	20.12

# 設備投資額、減価償却費、研究開発費

(単位：百万円)

	FY24 実績	FY25 実績	FY26 予想
設備投資額	7,860	6,233	6,800
減価償却費	11,022	11,881	12,200
研究開発費	5,306	5,632	6,000



# 為替感応度

計算対象期間 3カ月（2025年10月～12月）

通貨	FY25.4Q 為替レート*1	対円貨変動幅	営業利益への影響	FY25 業績予想*2 前提為替レート
	円	-	百万円	円
米ドル	152.73	1円円安	+54	145.00
ユーロ	177.70	1円円安	+14	159.50
人民元*3	21.48	0.1円円安	-35	20.40
香港ドル*3	19.64	0.1円円安	-7	18.60

計算対象期間 12カ月（2026年1月～12月）

通貨	FY26 為替レート	対円貨変動幅	営業利益への影響*1
	円	-	百万円
米ドル	150.00	1円円安	+241
ユーロ	180.00	1円円安	+19
人民元*3	21.43	0.1円円安	-97
香港ドル*3	19.22	0.1円円安	-89

\*1 為替レート：計算対象期間の平均レートを参考値として記載しています

\*2 2025年2月7日開示 業績予想

\*3 中国、香港はコストセンターであるため、それぞれの為替感応度をマイナス表示しています

本Qでの更新を下記の通りお知らせいたします。

IRライブラリー	IR Document Archive	<a href="#">JP</a>	<a href="#">EN</a>
中期経営計画説明資料	Mid-Term Business Plan	<a href="#">JP</a>	<a href="#">EN</a>
個人投資家向け会社説明会資料	Briefing Session for Individual Investors	<a href="#">JP</a>	<a href="#">EN</a>
Factbook	Factbook	<a href="#">JP</a>	<a href="#">EN</a>
スミダESGレポート	SUMIDA ESG Report	<a href="#">JP</a>	<a href="#">EN</a>
ESG Data	ESG Data	<a href="#">JP</a>	<a href="#">EN</a>
TCFDに基づく情報開示	Climate-related Financial Disclosure based on TCFD	<a href="#">JP</a>	<a href="#">EN</a>
コーポレートガバナンス報告書	Corporate Governance Report	<a href="#">JP</a>	<a href="#">EN</a>
スポンサード・リサーチレポート	Sponsored Research Report	<a href="#">JP</a>	<a href="#">EN</a>
会社案内ビデオ（270秒）	Corporate Video (270 sec)	<a href="#">JP</a>	<a href="#">EN</a>

# ご注意

## 将来予測に関する記述

当資料に掲載されている記述には、当社の将来予測に関する記述が含まれています。これらの将来予測に関する記述は、当社が現時点で入手した情報に基づくものです。従って、予期せぬ事象の発生及び経営環境の変化（世界経済情勢、事業構造、競争状態、技術動向、公的規制、社会環境・労働環境等によるものを含みます。）等の要因によって、実際の結果がこれらの将来予測に関する記述と異なる結果となる可能性があることをご了承ください。また、当社は、実際の結果が将来予測に関する記述と異なる結果となった場合でも、将来予測に関する記述を修正して公表する義務を負うものではありません。また、そのことに付随して発生したいかなる損失、損害にも責任を負いません。

本資料の著作権は、当社に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

なお、本資料では百万円単位で管理している原数値を億円単位で表示している場合があり、合計額、差額等が不正確な場合があります。詳細な数字が必要な場合は決算短信を参照していただきますようお願いいたします。

Global | Speed | Focus 

